



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社セリア 上場取引所 東
 コード番号 2782 URL <http://www.seria-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 映治
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 河合 規雄 TEL (0584) 89-8858
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	97,389	10.7	9,683	19.4	9,731	19.7	6,602	20.9
2020年3月期第2四半期	87,969	5.5	8,107	2.6	8,130	2.8	5,463	2.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	87.06	—
2020年3月期第2四半期	72.04	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	105,907	79,360	74.9	1,046.42
2020年3月期	101,430	75,019	74.0	989.18

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 79,360百万円 2020年3月期 75,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,700	7.8	19,050	8.2	19,100	8.0	13,050	8.1	172.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、[添付資料] P. 8 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	75,840,000株	2020年3月期	75,840,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	314株	2020年3月期	314株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	75,839,686株	2020年3月期2Q	75,839,686株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2020年11月6日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、国内外で新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあります。経済活動が徐々に再開するも、持ち直しつつあります。先行きにつきましては、感染症の動向が内外経済に与える影響について、きわめて不確実性が大きく、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

小売業界におきましては、ペントアップ需要(抑制されていた需要)の顕在化と、消費者の行動変容に伴う需要変化が混在しており、今後の状況推移に細心の注意を払う必要があると考えております。

このような状況のなか当社は、「新たな日常への対応力を強化する」をテーマとして、①顧客層拡大を狙いとされた商品開発のための体制強化策として、4月、大阪市に情報収集を目的としたサテライトオフィスを開設、②複数出店案件が見込める企業との関係強化および未出店地域の重点開拓、③システムを活用した社内全体の効率化追求に取り組み、セルフレジにつきましては、9月末において61店舗に導入し、検証を進めております。

出退店につきましては、採算性を精査しつつ前向きに進めた結果、当第2四半期累計期間において、出店が直営店69店舗、退店が直営店14店舗とほぼ計画どおりに進捗し、当四半期末の店舗数は、直営店1,688店、F C店46店の合計1,734店となりました。

直営既存店売上高につきましては、緊急事態宣言の発令により営業自粛した大型商業施設内等の休業店舗数が4月末において226店舗となった影響で、4月は前年同月比97.3%となりましたが、スーパーマーケット併設店舗など、営業が継続できた店舗の売上が順調に推移し、5月には緊急事態宣言が解除され、休業店舗が想定より早く営業再開でき、その後も見込みを上回って推移しました。9月は、前年の消費税増税の駆け込み需要の反動で97.7%となりましたが、当第2四半期累計期間において前年同期比104.0%となり、見込みを上回る進捗となりました。

主要経営指標につきましては、売上原価率は、前年同期と変わらず56.8%となりました。一方、販売費及び一般管理費については、既存店売上高が前年同期を上回ったこと等により、売上高に対する比率が0.8ポイント低下したため、当第2四半期累計期間の売上高営業利益率は9.9%(前年同期9.2%)となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は973億89百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は96億83百万円(前年同期比19.4%増)、経常利益は97億31百万円(前年同期比19.7%増)、四半期純利益は66億2百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末比44億77百万円増加し、1,059億7百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が増加したことなどにより32億41百万円増加しました。固定資産は、新規出店や既存店のリニューアルに伴い有形固定資産が増加したことなどにより12億35百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前期末比1億36百万円増加し、265億47百万円となりました。流動負債は、資産除去債務が減少したことなどにより1億54百万円減少しました。固定負債は、資産除去債務が増加したことなどにより2億91百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前期末比43億40百万円増加し、793億60百万円となり、自己資本比率は前期末から0.9ポイント上昇し74.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期末比8億45百万円増加し、443億9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比17億82百万円収入が増加し、74億64百万円のプラスとなりました。これは、税引前四半期純利益の計上97億3百万円及び減価償却費19億31百万円などの増加に対し、たな卸資産の増加16億79百万円及び法人税等の支払28億97百万円などにより減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比9億53百万円支出が増加し、40億13百万円のマイナスとなりました。これは、新規出店や既存店のリニューアルに伴う有形固定資産の取得25億94百万円及び差入保証金の差入6億68百万円などにより減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比9百万円支出が減少し、26億4百万円のマイナスとなりました。これは、配当金の支払22億75百万円及びリース債務の返済3億29百万円などにより減少したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、直営既存店売上高が104.0%と順調に推移したことなどにより、予想超過で着地いたしました。新型コロナウイルス感染症の動向など、先行きは予断を許さないものの、足元までの進捗状況等を勘案し、通期業績予想を修正いたします。

なお、2020年7月31日に公表いたしました通期業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	192,800	18,500	18,500	12,700	167.45
今回修正予想 (B)	195,700	19,050	19,100	13,050	172.07
増減額 (B)－(A)	2,900	550	600	350	—
増減率 (%)	1.5	3.0	3.2	2.8	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	181,476	17,604	17,683	12,070	159.15

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,288	47,083
売掛金	301	327
商品及び製品	16,376	18,056
前払費用	872	900
預け金	8,676	5,447
その他	172	114
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	68,685	71,926
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,450	16,311
その他(純額)	3,705	3,700
有形固定資産合計	19,155	20,011
無形固定資産	95	91
投資その他の資産		
敷金及び保証金	11,229	11,596
その他	2,338	2,345
貸倒引当金	△74	△63
投資その他の資産合計	13,494	13,878
固定資産合計	32,745	33,980
資産合計	101,430	105,907
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,931	10,226
未払費用	2,980	3,347
未払法人税等	3,281	3,499
賞与引当金	695	720
資産除去債務	28	23
店舗閉鎖損失引当金	1	13
その他	3,725	2,659
流動負債合計	20,644	20,489
固定負債		
退職給付引当金	349	357
役員退職慰労引当金	298	305
資産除去債務	3,588	3,865
その他	1,530	1,528
固定負債合計	5,766	6,057
負債合計	26,411	26,547

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金	1,419	1,419
利益剰余金	72,349	76,677
自己株式	△0	△0
株主資本合計	75,046	79,374
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△27	△14
評価・換算差額等合計	△27	△14
純資産合計	75,019	79,360
負債純資産合計	101,430	105,907

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	87,969	97,389
売上原価	49,935	55,333
売上総利益	38,034	42,055
販売費及び一般管理費	29,927	32,372
営業利益	8,107	9,683
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	1	1
受取家賃	10	10
受取補償金	14	32
その他	11	24
営業外収益合計	43	72
営業外費用		
支払利息	6	6
固定資産除却損	9	1
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	13
その他	3	3
営業外費用合計	19	24
経常利益	8,130	9,731
特別損失		
減損損失	63	27
特別損失合計	63	27
税引前四半期純利益	8,067	9,703
法人税等	2,603	3,101
四半期純利益	5,463	6,602

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,067	9,703
減価償却費	1,743	1,931
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	24
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	13
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17	7
受取利息及び受取配当金	△6	△5
支払利息	6	6
固定資産除却損	9	1
減損損失	63	27
売上債権の増減額(△は増加)	21	△25
預け金の増減額(△は増加)	16	226
たな卸資産の増減額(△は増加)	△524	△1,679
仕入債務の増減額(△は減少)	△259	295
未払消費税等の増減額(△は減少)	△92	△310
その他	△640	141
小計	8,409	10,366
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△2,723	△2,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,681	7,464
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90	△1,072
定期預金の払戻による収入	120	125
有形固定資産の取得による支出	△2,611	△2,594
無形固定資産の取得による支出	△36	△8
差入保証金の差入による支出	△528	△668
差入保証金の回収による収入	205	291
その他	△119	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,060	△4,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,275	△2,275
リース債務の返済による支出	△338	△329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,613	△2,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6	845
現金及び現金同等物の期首残高	36,241	43,463
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,247	44,309

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第2四半期累計期間における仕入実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品区分	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	55,792	112.9
菓子食品	1,170	112.2
その他	50	343.1
合計	57,013	113.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. その他には、消耗品費への振替高等が含まれております。

② 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を商品区分別、事業部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

a. 商品区分別売上高

商品区分	売上高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	95,797	110.7
菓子食品	1,526	112.6
その他	64	143.3
合計	97,389	110.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. その他には、店舗に設置した自動販売機等の手数料収入等が含まれております。

b. 事業部門別売上高

事業部門	売上高(百万円)	前年同期比(%)
直営売上高	95,812	110.7
F C売上高	1,198	114.9
卸売等売上高	116	106.0
海外売上高	262	96.6
合計	97,389	110.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 地域別売上高
(直営売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第2四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	11,623	112.1	207	9	2
関東甲信越地方	32,239	111.0	529	28	3
東海北陸地方	18,585	108.8	364	10	2
関西地方	16,233	107.6	265	7	2
中国四国地方	7,262	114.9	138	5	1
九州沖縄地方	9,867	114.3	185	10	4
合計	95,812	110.7	1,688	69	14

(FC売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第2四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	220	117.7	9	0	0
関東甲信越地方	51	118.3	6	0	0
東海北陸地方	125	105.7	7	0	0
関西地方	22	115.8	3	0	0
中国四国地方	49	117.4	4	0	0
九州沖縄地方	728	115.3	17	0	0
合計	1,198	114.9	46	0	0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別の区分は次のとおりであります。

北海道東北地方……………北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越地方……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸地方……………富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地方……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国地方……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州沖縄地方……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県